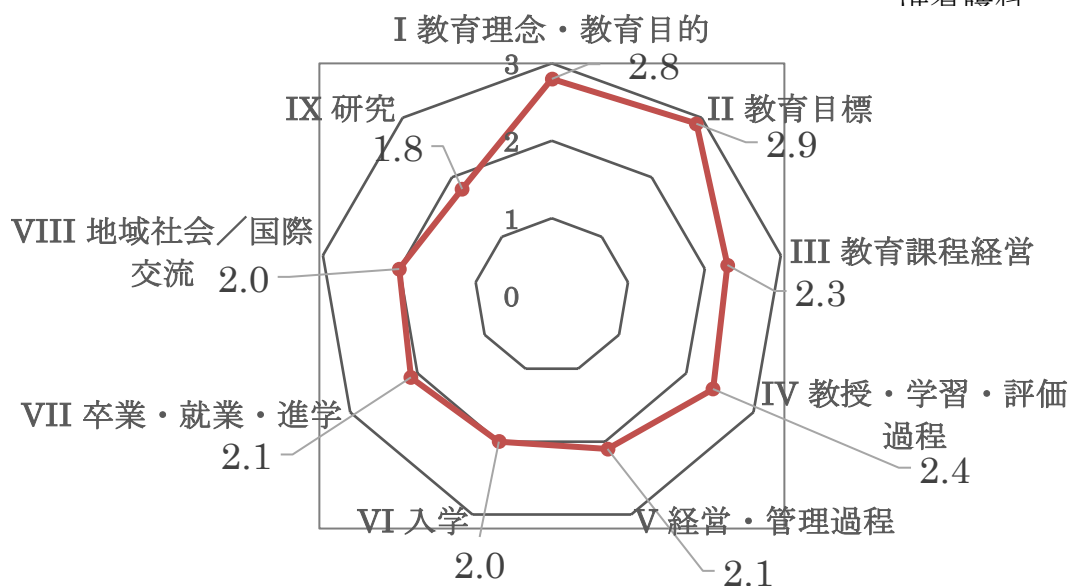


令和 6 年 4 月

令和 5 年度 自己点検・自己評価

准看護科



令和 5 年度 評価の概要と今後の課題

I. 教育理念・教育目的

本校の教育上の特徴を示しており、学生の指針となるよう具体的に示すことができています。

II. 教育目標

新カリキュラムにおいて、教育目標を明確にし、教育内容と関連させることができた。教育目標に沿った教育ができていのか評価するシステムの構築が課題であったが着手できていない。

III. 教育課程経営

指定規則、別表 4 に基づき、科目は法に遵守できている。単元の時間数も適切である。科目と単元の構成及び各ねらいについては生徒便覧に記載し、入学時刻エンターションで説明している。新カリキュラムでの教育を受けた生徒が卒業した。今後、カリキュラムの評価を行い修正していく必要がある。

令和 5 年度の教育・研究活動の実施については、以下の通りである。

教育・研究活動

日本看護学校協議会学会(オンライン)	1名参加
日本看護学教育学会第33回学術集会	1名参加
福岡県医師会第1回看護学校長・教務主任会議	3名参加
日本看護学校協議会 第1回教育研修会(オンライン)	1名参加
福岡県医師会看護教育研修(オンライン)	全教員受講
福岡県私立専修学校 各種学校・同和教育研修会(オンライン)	1名参加
日本看護学校協議会 副学校長・教務主任会(オンライン)	1名参加
福岡県医師会看護師卒後研修会(オンライン)	全教員受講
人権・同和教育研修会	1名参加
福岡県看護師等養成所運営に関する会議(オンライン)	4名参加
福岡県看護教員継続研修 新任期	1名参加

臨地実習において、99%が臨地での実習を実施することができた。医療機関においては、新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症対策の関係上、実習の中止、変更もあり得るため感染対策の徹底や学内実習も含め柔軟な対応が必要である。

ICTの活用については、教員の力量にも差があり、十分に活用できたとはいえない。

生徒の安全対策として、総合保障制度、学生用 Will 保険に加入している。令和 5 年度の対応件数は 3 件であった。今後の課題としては業務の整備、効率化を行い、教員間で指導案の検討や授業参観などの機会を設け相互研鑽のシステムをつくることである。

チームズ (Web 上のコミュニケーションツール) を導入し、生徒との新たなコミュニケーション手段ができた。今後活用していくためには配信準備時間の確保やスキルの習得が必要であり、教員または教務事務との連携を取り活用していく。

IV. 教授・学習・評価過程

目標評価については、授業評価、実習評価、卒業時アンケートを実施している。授業評価は各教員が自己の授業を振り返り授業改善に向けて取り組んでいる。今後の課題として、授業評価の実施は、教務と一部の講師のみであるため、全科目のカリキュラムの評価を基に目標評価ができるように整備していく。今年度、実習指導者会をオンラインで開催した。今後も施設側と協議しながら評価を活用していく必要がある。卒業時アンケートは、集計結果を教員全員に周知しているが、結果の分析ができていない。今後、分析を加え、教育活動の評価活動につなげていく。

V. 経営・管理過程

自己点検・自己評価を実施し次年度の目標へつなげるよう努力している。令和2年度より学校関係者評価を取り入れ、適正な学校運営・経営に努めている。

運営会議（紙面4回）教務会議（1回/月）、進級判定会議（3回）、入学試験委員会（5回）である。講師会は中止（書類発送）、実習指導者会、主任会議、評価委員会は実施できていない。今後は、コロナの状況を踏まえながらも実施可能な方法・手段を検討する必要がある。学生生活への支援については、各種奨学金について周知し、対応している。スクールカウンセラーを配置し(非常勤)、生徒の相談を受ける体制は整えているが、令和5年度の相談実績は1件であった。

VI. 入学

コロナ禍の中、感染状況に応じた活動となった。募集活動としては、学校訪問（のべ20校）、ガイダンス（1回/年）への参加、オープンキャンパス（3回/年）を実施した。学校訪問は、大牟田市内とその周辺に絞って実施し、その他の各学校には電話による入試の告知を行った。しかし結果は、令和6年度も定員割（充足率42.9%）である。

退学者数の推移

2019年度生	2020年度生	2021年度生	2022年度生	2023年度生
4名	8名	7名	9名	7名

2023年度生は2024年3月末現在の数

受験者数の推移

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
37名	37名	43名	43名	33名

受験者数の減少により入学者選抜が厳しい状況である。令和3年度より社会人入試を導入し、今年度は6回実施したが、受験者は10名であった。

VII. 卒業・就業・進学

福岡県准看護師試験結果は100%合格であり、令和5年度の目標は達成することができた。就職率は90.5%と未定者もいるが、80%は大牟田市、玉名市に就職しており、地域医療を支える人材育成としての役割は果たせていると考える。進学率は47.6%（昨年は65.3%）、進学者10名のうち8名が本校看護科へ進学した。今後の課題として、卒業生の就業先での評価の把握や就業先との情報交換、調査等は実施していないため、就業先との連携を図りながら地域に定着し貢献していきけるように支援して行く必要がある。令和6年度は福岡県の外国人看護師候補者資格取得支援事業を受け入れ、7名の外国人生徒が入学する。学校生活に適応できるよう、学習支援をはじめサポート体制を整えていく必要がある。

VIII. 地域社会／国際交流

養成所の情報提供については、ホームページや進学サプリーへの参画、SNS（インスタグラム）を通し情報を発信している。学校周辺の清掃活動は実施できたが、その他のボランティア活動は実施できなかった。

IX. 研究

令和5年度は研究活動に取り組んだ教員はいなかった。各教員が自分のスキルアップのため自己研鑽に努めるとともに職場環境においても支援する環境、雰囲気作りや時間の確保への配慮が必要である。

令和6年度 准看護科 目標

1. 新カリキュラムの適正な運用
2. 学生支援の充実 ～入学生を大事に育てる～
外国人入学生の支援と中途退学者の減少
3. 令和6年度福岡県准看護師試験全員合格

令和5年度目標評価

准看護科

1. 新カリキュラムの適正な運用
2. 学生確保と学生支援の充実
3. 令和5年度福岡県准看護師試験全員合格

- 評価基準
- A: 計画通り達成できた
 - B: おおむね計画通り達成できた
 - C: 計画通りできなかったところもあり十分でない
 - D: 全く達成できなかった

目標	計画	実施状況（評価の判断理由）	評価
1. 新カリキュラムの適正な運用	①シラバスの作成・配布 ②カリキュラムの調整・評価・修正 ③実習要項の作成 ④各実習施設との連絡・調整 ⑤実習計画の実施 ⑥講義準備時間の確保	①5月にシラバスを配布した。配布準備できるまでは、その都度生徒へ提示し学習に役立つように努めた。 ②講師と調整しながら運用できた。しかし、評価・修正は不十分である ③計画・準備が遅れ、その都度の作成となった。実習前には生徒及び実習施設へ配布できず、次年度は年度内完成を目指す。 ④新たな実習施設も含め、各実習施設と連絡・調整を図りながら準備することができた。 ⑤新カリキュラムでの実習であったが、その都度調整し実施することができた。しかし、準備不足や実習評価の分析が不十分であり、今後より良い運用に向け修正していく必要がある。 ⑥通常業務に追われ、準備時間の確保は困難であった。計画において、重点課題を挙げるなど具体的な計画立案が必要である。	C
2. 学生確保と学生支援の充実	①学生確保 目標：現状維持（充足率 50%） ②体調管理及びメンタルヘルスの充実 ③ICTの活用	①年3回のオープンキャンパスの他、ガイダンスへの参加、高校回り等行った。しかし、入学生は30名と充足率42.9%と目標達成には至らなかった。 ②毎日の体調管理シートによる体調管理は行えている。感染予防対策の継続、生徒への注意・喚起に努めた。コロナ感染者数は15名、インフルエンザ感染者数は5名であった。年間、2回の面接を実施。メンタルに問題がある生徒へは継続的に声をかけるなどのかかわりをもった。メンタルによる休学者2名。退学者は0名。長期欠席や学業不振など退学の関連要因としても考えられるため、今後も対応の継続が必要である。 ③チームズ（Web上のコミュニケーションツール）を導入し、資料・時間割の配布、講義アンケートや小テスト等タイムリーに実施できた。ペーパーレス化、アンケートの自動集計等メリットが大きい。配信の準備時間の確保や運用のためのスキル確保が必要であり、今後の課題である。	B
3. 令和5年度福岡県准看護師試験全員合格	①1年生「学習習慣の定着」 ②2年生「県試験全員合格」 ・成績不良者への個別指導 ・模擬試験の活用と問題集の取組み	①提出物や見直し学習の状況などを把握し、個別に対応。終講試験の結果では学力の差が大きい。低学年模擬試験の結果は偏差値49.9。学力不振による退学者はいないが、進路変更の要因にもなり得るため、次年度は目標に対する評価基準の設定等、綿密な計画が必要である。 ②問題集の取り組みの状況を把握し個別対応および年3回の外部模擬試験を実施。生徒の学習意欲に合わせ、勉強会をするなど対応した。忍耐強く継続的にかかわりを持ち、福岡県准看護師試験は全員合格することができた。	B

